



## 全国学力・学習状況調査からみえてきたもの

今年度4月、全国学力・学習状況調査として、3年生を対象に「教科に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施しました。その集計結果からみられる本校生徒の特徴について報告します。本日、3年生生徒に結果を返却しましたので、個々の学習状況やそれぞれの教科・領域の理解度についてご確認いただき、今後の学習や生活に活かしてください。

### (1) 本校の平均正解率

国語 全国平均正答率と比較し「やや上回る」という結果になりました。  
 数学 全国平均正答率と比較し「やや下回る」という結果になりました。

### (2) 「教科に関する調査」から見られる本校の特徴

- ① 概ね全国平均正答率と数値は変わらない。
- ② 無回答（解答していない空白状態）率が極めて低い。
- ③ 著しく正答率が高い・低い領域はない

○ 生徒一人ひとりが思考し、小グループ集団を活用しながら、問題解決を図る場面を設定した授業を重視していることが、応用的な力が問われる問題の正答率の高さにつながっていると考えます。また、無回答（解答していない空白状態）率についても、これまでの状況調査と同様、極めて低い状態となっています。あきらめずに最後まで取り組むことができるのは、本校の最大の強みであると思います。3年生には、このことの大切さを自覚し、これからも持ち続けることができるように働きかけていきます。また、1、2年生には本校の良き伝統として引き継げるようにしていきたいと考えます。

○ 国語科に関しては、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の3領域については、全国平均をやや上回り、「読むこと」に関しては全国平均と同等、という結果になりました。次に、問題別の集計結果から、全14問中、全国平均正答率を上回った問いは8問あり、「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ」の問題において特に高い正答率となりました。これは日頃、課題に対し個人でじっくり考える時間を確保し、その後、自分の考えを発表する機会を設定している授業形態の成果であると考えられます。逆に、下回った問い6問の中で、特に「文脈の中における語句を理解する」の問題についての正解率が低く、話や文章の中で、正しく語句の意味を理解できなかったことが「読むこと」の結果にも表れています。文章を読む際、文脈から特定の語句の意味を考える機会を増やしていきたいと考えます。また、生徒質問紙調査の国語科に関する質問で、「国語の勉強が好き」と答えた生徒は約5割でしたが、「国語の勉強は大切だと思う」「国語の授業で学んだことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」「国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしている」について、当てはまる・どちらかといえば当てはまると答えた生徒は、全国平均より高い9割以上という結果となりました。

○ 数学科に関しては、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の4領域で、全国平均をやや下回る結果となりました。「数と式」に関しては、数量関係を正しく式に表すことはできているが、基本的な計算の規則が定着していない生徒もいます。「図形」に関しては、理由を説明したり表現したりする際、根拠となる基本的な知識の定着が不十分であると感じました。「関数」に関しては、グラフから必要な情報を読み取ったり、問題解決の方法を数学的に説明したりすることは出来ているのですが、関数の意味が分からない生徒もいます。「資料の活用」に関しては、ヒストグラムから階級の度数を読み取る問題の正答率が高いのですが、データから中央値を求める問題の正答率は低い結果となりました。数学全体の傾向として、理解力はあるが基礎的・基本的な内容、知識の定着が不十分であるため、今まで以上に復習や演習の時間を増やし、より丁寧な指導を心がけていきたいと考えます。質問紙調査の数学科に関する質問で、「数学の勉強が好き」と答えた生徒は6割であり、「数学の勉強は大切だと思う」「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」当てはまる・どちらかといえば当てはまると答えた生徒は、全国平均より高い8割以上という結果となりました。

## 「学習や生活についてのアンケート」から見られる本校生徒の特徴

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」を合わせて、全国平均より高い項目は、全69項目中、43項目あります。これは、全体の約62%に当たります。

### ※値が「高い」項目（◎：非常に高い、○：高い）

- ◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ◎友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- ◎学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。
- ◎人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ◎友達と協力するのは楽しいと思う。
- 朝食を毎日食べている。
- 毎日、同じくらいの時間に起きている。
- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- 人が困っているときは、進んで助ける。
- 1, 2年の授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自ら取り組んだ。
- 1, 2年の授業で、コンピュータなどのICT機器を使用した。
- 道徳の授業で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んだ。

### ※値が「低い」項目（▲：低い、●非常に低い）

- ▲地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。
- ▲今住んでいる地域の行事に参加している。
- 新聞を読んでいる。

### ※全国平均との比較で、値が「高い」項目（◎：非常に高い、○高い）

- ◎学校で、コンピュータなどのICT機器で他の生徒と意見を交流したり、調べたりした。
- ◎1, 2年の授業で、コンピュータなどのICT機器を使用した。
- ◎学級活動における話し合いを生かして、今、努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- 学校に行くのは楽しい。
- 将来の夢や目標を持っている。
- 1, 2年の授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自ら取り組んだ。
- 携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。

### ※全国平均との比較で、値が「低い」項目（▲：低い、●：非常に低い）

- ▲総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだ。
- （非常に低い項目は、ありませんでした。）

まじめに取り組んでいる本校生徒の特徴が「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」「人が困っているときは、進んで助ける」で表れています。学校生活においては、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という考えを持ち、生徒相互の関係性も「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる」「友達と協力するのは楽しいと思う」と回答した生徒が多く、「学校は楽しい」と感じている生徒が多いようです。学習面では、「セルフアップダイアリー」の活用も3年目となり、家庭学習が定着してきた生徒が増えてきました。今後、タブレットPC等のICT機器を活用した学習を推進し、引き続き、自分で立てた課題の解決に向けて、自ら取り組む姿勢を持つ生徒の育成に努めていきます。また、将来、「人の役に立つ人間になりたい」と思っている生徒が多く、具体的な「将来の夢や目標を持っている」生徒は全体の75%以上で、全国平均値を上回っているだけでなく、経年的な比較をしても大変高い数字となっています。これは、四日市版キャリアパスポート「みらいにつながるFuture★Link」を中心に進めてきたキャリア学習の成果であり、今後も、将来の夢や目標の実現に向けて全体や個々への指導等により、将来の展望を持って中学校を卒業できるよう力を注ぎたいと思います。家庭での生活面では、「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時間に起きている」「携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」と回答した生徒が多く、本校の重点課題の1つ「基本的な生活習慣」の確立に向けて、各ご家庭の協力のおかげもあり、成果が出たのだと感じています。コロナウイルス感染症の影響もあったのではないかと考えられますが、今住んでいる地域の行事に参加している生徒の値が、今年度も低くなりました。今後、コミュニティスクールを有効に利用し、地域行事や地域活動への中学生の参加（地区の文化祭、防災訓練等）や地域人材活用（職場体験学習の受け入れ依頼、郷土学習等の講師依頼）の充実を図ります。